



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスユーエス
 コード番号 6554 URL <https://www.sus-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 公男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 浅田 剛史 (TEL) 075-229-6514
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	2,301	15.2	207	△8.4	207	△10.7	139	△12.1
2019年9月期第1四半期	1,996	19.2	226	53.7	232	52.1	158	56.2

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 137百万円(△13.3%) 2019年9月期第1四半期 158百万円(56.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	15.88	15.05
2019年9月期第1四半期	18.17	17.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,743	2,356	60.3
2019年9月期	3,606	2,190	60.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 2,257百万円 2019年9月期 2,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,493	15.0	63	△79.8	63	△80.3	27	△86.2	3.13
通期	9,594	18.2	217	△56.1	216	△57.0	117	△65.1	13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年9月期1Q	8,760,800株	2019年9月期	8,760,000株
2020年9月期1Q	136株	2019年9月期	136株
2020年9月期1Q	8,760,397株	2019年9月期1Q	8,714,397株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米中貿易摩擦や中国経済の減速等による海外経済の不確実性等から、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような中、当社の技術者派遣事業においては、IT分野、機械分野、電気・電子分野、化学・バイオ分野で技術者ニーズが増加しました。また、ライン部門を中心とした採用強化に伴い人件費が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,301,312千円（対前年同期比15.2%増）、営業利益207,758千円（対前年同期比8.4%減）、経常利益207,626千円（対前年同期比10.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益139,076千円（対前年同期比12.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 技術者派遣事業

技術者派遣は、大手製造業及びシステムインテグレーターにおける慢性的な人材不足により、新規企業からの受注獲得に加え、既存顧客企業においても受注件数が堅調に推移しました。また、在籍技術者数は前年同期比で増加し、稼働率も高い水準を維持しました。加えて、技術者の高付加価値業務への配置転換推進等により、派遣単価の向上にも努めてまいりました。

請負業務は、IT請負の取引が拡大したことに加え、製造請負の主な取引先市場である半導体市場に回復の兆しがみられたこと等から、受注件数が堅調に推移しました。

これらの結果、技術者派遣事業の売上高は2,168,034千円（対前年同期比16.2%増）、セグメント利益は221,062千円（対前年同期比2.7%減）となりました。

② コンサルティング事業

システムコンサルティングサービスは、SAPをはじめとした大規模基幹システムにおいてIT基盤の統合・再構築が企業の重要課題とされ、機能拡張やグローバル展開案件が堅調に推移しております。SAPにおいては、クラウド系基幹システムであるS/4 HANAの導入案件が首都圏を中心に拡大傾向であります。また、SAP以外のERP導入案件も順調に拡大しております。こうした案件状況に対して、自社ITコンサルタントの育成及び増員に加えて協力会社の外注要員を活用し、チーム体制での案件対応を推進してまいりました。

これらの結果、コンサルティング事業の売上高は117,223千円（対前年同期比8.5%増）、セグメント利益は7,802千円（対前年同期比77.5%増）となりました。

③ その他

採用マッチングソリューション「SUZAKU」及びビジネスコンサルティングサービスの売上高は、対前年同期比で増加しました。一方、前第1四半期連結累計期間は行政からの特注のソフトウェア開発案件があったこと及び障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく特例子会社である株式会社ストーンフリーにおいて、就労移行支援事業の利用者が減少したこと等により、売上高は前年同期比で減少しました。

これらの結果、売上高は16,055千円（対前年同期比31.7%減）、セグメント損失は21,107千円（前年同期は4,809千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は3,743,785千円となり、前連結会計年度末より137,493千円の増加となりました。流動資産合計は3,264,840千円となり、前連結会計年度末より11,336千円の減少となりました。これは主に売掛金が71,340千円増加した一方、現金及び預金が110,568千円減少したことによるものであります。固定資産合計は478,944千円となり、前連結会計年度末より148,830千円の増加となりました。これは主に子会社(株式会社クロスリアリティ)の設備購入等により有形固定資産が16,461千円、無形固定資産が99,206千円増加したことによるものであります。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,387,219千円となり、前連結会計年度末より28,462千円の減少となりました。流動負債合計は1,381,529千円となり、前連結会計年度末より27,936千円の減少となりました。これは主に未払金が247,035千円増加した一方で、賞与引当金が214,069千円、未払法人税等が80,337千円減少したことによるものであります。固定負債合計は5,689千円となり、前連結会計年度末より525千円の減少となりました。これは主にリース債務が472千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,356,566千円となり、前連結会計年度末より165,956千円の増加となりました。これは主に子会社(株式会社クロスリアリティ)における第三者割当増資等による非支配株主持分87,478千円の増加に加えて、配当実施の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が77,757千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました予想値から変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の業績は、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益、通期の親会社株主に帰属する当期純利益において既に連結業績予想値を上回っておりますが、販売費及び一般管理費において、第2四半期連結会計期間以降に費用発生のウェイトを高く見込んでいること等により、現時点で第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正は行わない判断といたしました。

なお、今後、各種情報収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,967	2,061,399
売掛金	1,034,865	1,106,205
仕掛品	10,095	11,036
その他	59,280	86,233
貸倒引当金	△32	△35
流動資産合計	3,276,177	3,264,840
固定資産		
有形固定資産	95,018	111,479
無形固定資産	46,463	145,670
投資その他の資産	188,632	221,794
固定資産合計	330,114	478,944
資産合計	3,606,291	3,743,785
負債の部		
流動負債		
短期借入金	230,430	230,529
1年内返済予定の長期借入金	56,384	48,875
未払金	565,757	812,793
未払法人税等	89,224	8,886
賞与引当金	214,069	—
その他	253,599	280,444
流動負債合計	1,409,465	1,381,529
固定負債		
リース債務	5,691	5,219
その他	523	470
固定負債合計	6,215	5,689
負債合計	1,415,681	1,387,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,884	429,902
資本剰余金	524,844	525,547
利益剰余金	1,224,421	1,302,178
自己株式	△155	△155
株主資本合計	2,178,995	2,257,472
非支配株主持分	11,615	99,093
純資産合計	2,190,610	2,356,566
負債純資産合計	3,606,291	3,743,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	1,996,851	2,301,312
売上原価	1,400,408	1,629,066
売上総利益	596,442	672,246
販売費及び一般管理費	369,703	464,488
営業利益	226,739	207,758
営業外収益		
受取利息	5	5
助成金収入	1,360	1,520
投資有価証券売却益	5,042	—
その他	26	16
営業外収益合計	6,435	1,541
営業外費用		
支払利息	569	560
支払手数料	—	1,112
営業外費用合計	569	1,673
経常利益	232,605	207,626
税金等調整前四半期純利益	232,605	207,626
法人税、住民税及び事業税	12,739	994
法人税等調整額	61,606	69,393
法人税等合計	74,346	70,387
四半期純利益	158,258	137,239
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	△1,837
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,306	139,076

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	158,258	137,239
四半期包括利益	158,258	137,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,306	139,076
非支配株主に係る四半期包括利益	△47	△1,837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル ティング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,865,310	108,036	1,973,347	23,504	1,996,851
計	1,865,310	108,036	1,973,347	23,504	1,996,851
セグメント利益又は損失(△)	227,154	4,395	231,549	△4,809	226,739

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル ティング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,168,034	117,223	2,285,257	16,055	2,301,312
計	2,168,034	117,223	2,285,257	16,055	2,301,312
セグメント利益又は損失(△)	221,062	7,802	228,865	△21,107	207,758

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。